

令和7年度 福岡市高速鉄道事業会計予算の概要

1. 予算

収益的収支	金額
収入	45,166 百万円
支出	37,374 百万円
差引	7,792 百万円
単年度損益 (消費税要素除く)	6,772 百万円

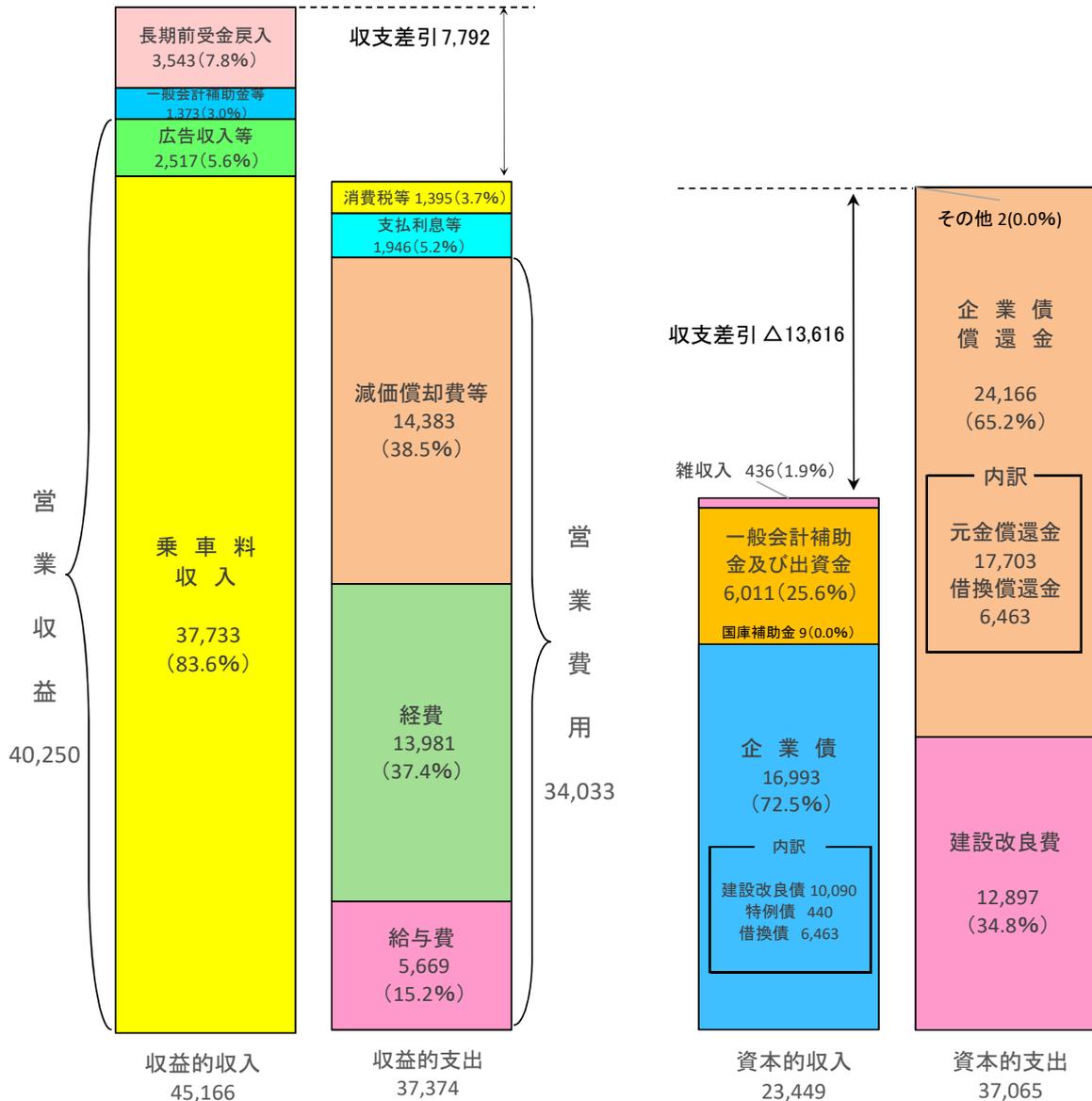
令和6年度末累積損益 △ 92,504百万円
 令和7年度損益 6,772百万円
 令和7年度末累積損益 △ 85,732百万円

資本的収支	金額
収入	23,449 百万円
支出	37,065 百万円
差引	△ 13,616 百万円

※ 減価償却費などの損益勘定留保資金等で補てん
 令和7年度末累積資金過不足額 15,952 百万円

収益的収支
(単位：百万円)

資本的収支
(単位：百万円)



2. 業務の予定量

(1) 営業路線及び営業キロ

空港線（1号線）	姪 浜 ～ 福岡 空港	13.1	キロメートル
箱崎線（2号線）	中 洲 川 端 ～ 貝 塚	4.7	キロメートル
七隈線（3号線）	橋 本 ～ 博 多	13.6	キロメートル
計		31.4	キロメートル

(2) 車 両 数 240両 (47編成)

(3) 年間走行キロメートル 20,734,677 キロメートル

(4) 年間輸送人員 193,961,000 人

(5) 一日平均輸送人員 531,400 人

○内訳	7年度	6年度	差引
空港・箱崎線 (a)	382,300 人	361,400 人	20,900 人
七隈線 (b)	149,100 人	129,100 人	20,000 人
全線計 (a) + (b)	531,400 人	490,500 人	40,900 人

3. 主要な建設改良事業

営業線改良事業 事業費 12,896,783 千円

4. 重要施策

()内は前年度予算額

(1) 安全・安心

8,127,082千円 (4,789,872千円)

安全方針・安全行動規範を遵守し、地下鉄をより安全に、安心してご利用いただくための取り組みを推進する。

ア 安全への取り組み

7,970,109千円 (4,735,444千円)

トンネル等の土木構造物や変電所設備など、地下鉄の運行を支える施設・設備について、定期的な点検及び点検結果に基づいた長期計画により補修・更新工事を実施する。また、トンネル内部において迅速かつ効率的に点検を実施するため、新たにドローンを導入する。

運用開始から約40年が経過した空港・箱崎線車両(1000N系)について順次更新する。

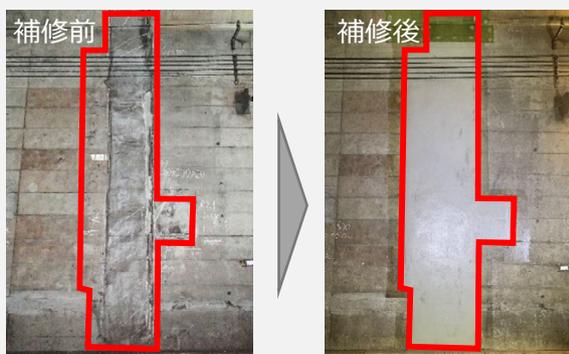
さらに、全職員への安全に関する教育訓練や、不測の事態が発生した場合のシミュレーション訓練等により職員の安全スキルのさらなる向上を図るとともに、PDCAサイクルによる継続的な安全管理体制の強化に取り組む。

イ 安心への取り組み

156,973千円 (54,428千円)

地下鉄車内やエスカレーター等への防犯カメラの設置や、巡回警備の強化等により、駅や車内における犯罪の未然防止等に取り組み、より安心してご利用いただける環境づくりを推進する。

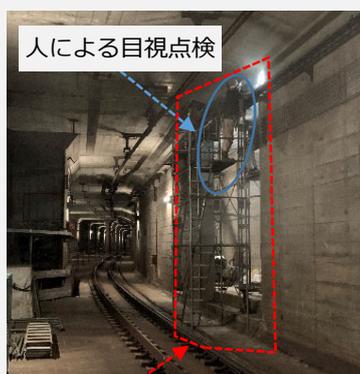
また、地震や風水害等の自然災害への対応能力の向上を図るため、近隣施設や関係機関と連携した訓練や帰宅困難者の発生を想定した訓練などを実施する。



土木構造物補修工事 (イメージ)



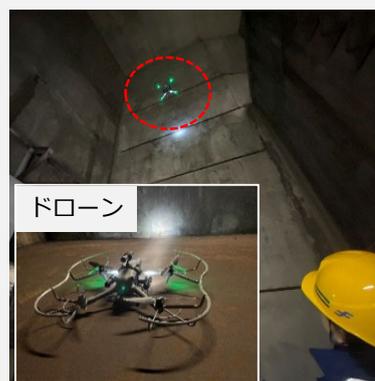
[参考] 夜間工事 (分岐器更新工事)



人による目視点検

足場

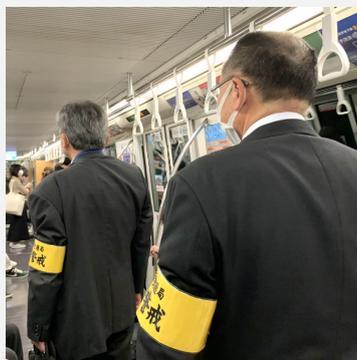
土木構造物の点検にドローン導入 (イメージ)



ドローン

(単位：千円)

区分	令和7年度	令和6年度	比較増減	備考
ア 安全への取組み	7,970,109	4,735,444	3,234,665	
土木構造物補修	265,535	210,112	55,423	トンネル断面修復、ドローン購入等
総事業費：1,960百万円（事業期間：令和5年度～令和14年度）				
変電所設備更新事業	761,618	-	761,618	変電所高配用特高変圧設備更新工事等
車両検修設備更新事業	357,230	318,783	38,447	浜浜車両基地外車両検修機械設備更新工事等
自動列車制御装置（ATC）更新事業	52,178	-	52,178	七隈線信号通信用無停電電源装置更新工事
電気室設備更新事業	363,576	42,105	321,471	電気室配電設備改良工事等
空港・箱崎線車両（1000N系）更新事業	6,169,972	4,164,444	2,005,528	新造車両の導入（5編成）
総事業費：21,699百万円（事業期間：令和3年度～令和9年度）				
イ 安心への取組み	156,973	54,428	102,545	
駅構内防犯カメラの設置	38,800	-	38,800	防犯カメラ増設（約200台：R7～R8）
車内防犯カメラの設置	79,629	39,974	39,655	リアルタイム機能付き防犯カメラの設置
車内及び駅構内巡回警備	38,544	14,454	24,090	巡回警備の強化
合計	8,127,082	4,789,872	3,337,210	



車内及び駅構内巡回警備



防犯カメラ

エスカレーター 防犯カメラの設置

()内は前年度予算額

(2) 快適で質の高いサービス

911,633千円 (549,744千円)

お客様により満足いただける地下鉄を目指して、サービスや駅・車両の利便性をさらに向上させる取り組みを推進する。

ア 快適・便利な環境づくり

885,813千円 (536,058千円)

経年劣化が進む駅のリフレッシュを実施するとともに、地下駅の全館冷房化を推進する。また、福岡空港駅におけるエレベーターの増設を始め、さらなる昇降機の増設に向けて取り組む。

ご高齢の方や車いす・ベビーカーをご利用の方など、誰もが気持ちよく利用できるよう車両優先スペースを改修するとともに、乗降マナー向上の取組みやAIの活用によるエスカレーター安全利用の啓発を強化するなど、「ユニバーサル都市・福岡」にふさわしい地下鉄の取組みを推進する。

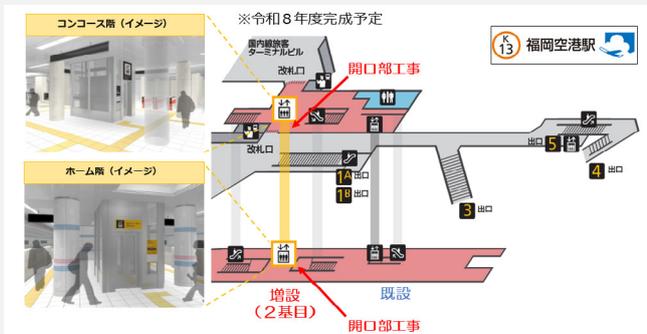
さらに、今後の改札機更新に合わせて、磁気券に代わるQR乗車券の検討に取り組む。

イ 質の高いサービスの提供

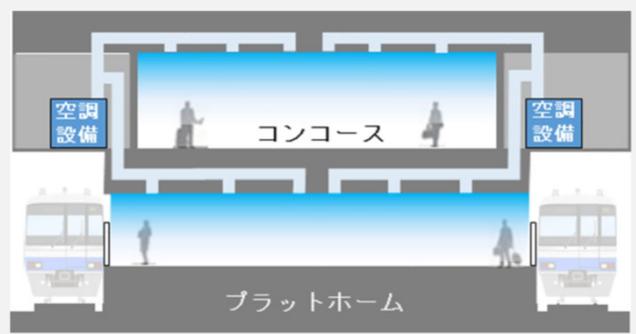
25,820千円 (13,686千円)

混雑緩和等を目的としたダイヤ改正を実施するとともに、来訪者の利便性向上のため福岡空港駅に駅コンシェルジュを新たに配置する。

多様化するニーズについて、お客様の声や満足度調査等により把握・分析し、今後のサービス展開に繋げる。



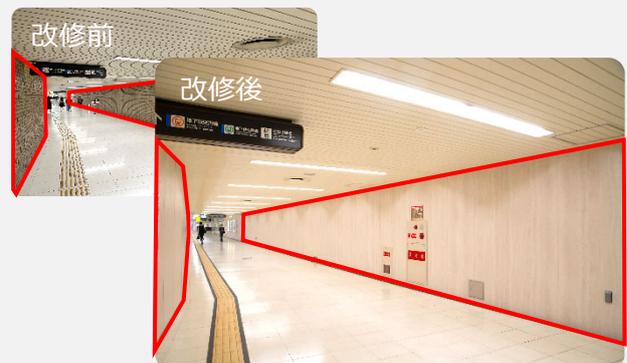
福岡空港駅のエレベーターの増設



地下駅の全館冷房化



車内優先スペースの改修



駅のリフレッシュ (コンコース壁面)

(単位：千円)

区分	令和7年度	令和6年度	比較増減	備考
ア快適・便利な環境づくり	885,813	536,058	349,755	
駅のリフレッシュ	399,745	211,524	188,221	室見駅・大濠公園駅・中洲川端駅の改修等
地下駅の全館冷房化の推進	184,524	12,931	171,593	六本松駅設置工事、実施設計23駅
昇降機の増設	40,868	15,562	25,306	福岡空港駅エレベーター開口部工事
案内サインの改良	88,499	53,716	34,783	エレベーター優先サイン、誘導案内サインの拡充、マナー啓発等
車両の優先席・スペースの改修	154,339	242,325	△ 87,986	優先席・スペースの改修
エスカレーター安全利用促進	17,838	-	17,838	A I活用によるエスカレーター安全利用促進
イ質の高いサービスの提供	25,820	13,686	12,134	
お客様満足度調査	1,542	1,279	263	多様化するお客様のニーズ把握
インバウンド対策	24,278	12,407	11,871	地下鉄駅コンシェルジュ、外国語サポートサービス
合計	911,633	549,744	361,889	



エレベーター優先利用案内サイン（薬院駅）



博多駅コンシェルジュ
外国人対応の様子

()内は前年度予算額

(3) まちづくり・環境配慮

2,896,269千円 (913,355千円)

都市と共に発展する地下鉄を目指して、まちづくりと連携した利便性向上の取組みに加え、環境にやさしい公共交通機関として脱炭素の取組みを推進する。

ア まちづくりへの取組み

323,268千円 (9,281千円)

開発事業者などと連携した駅施設の改良等により、まちづくりに合わせた駅の利便性向上を推進する。

また、全市的な緑化推進施策を踏まえ、駅コンコースの緑化に取り組む。

イ 環境配慮の取組み

2,573,001千円 (904,074千円)

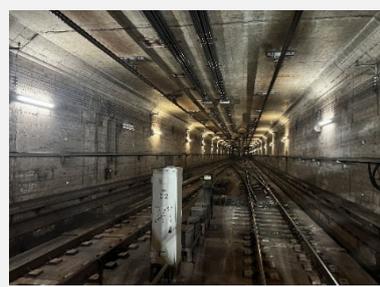
駅照明のLED化等により、消費エネルギーの抑制に取り組むほか、地下鉄用電力への再生可能エネルギー由来電力の導入割合を100%に拡大するなど、脱炭素社会の実現に向けた取組みを推進する。

(単位：千円)

区分	令和7年度	令和6年度	比較増減	備考
ア まちづくりへの取組み	323,268	9,281	313,987	
貝塚駅のリニューアル	15,137	-	15,137	貝塚駅の内外装改修実施設計
地下空間の緑化	296,816	-	296,816	福岡空港駅・博多駅・天神駅の壁面等の緑化
地下鉄フェスタの開催	11,315	9,281	2,034	地下鉄フェスタ開催経費
イ 環境配慮の取組み	2,573,001	904,074	1,668,927	
駅照明等のLED化	386,081	74,894	311,187	駅構内及びトンネル内照明・電照広告のLED化等
総事業費:2,797百万円(事業期間:平成23年度~令和9年度)				
再生可能エネルギー由来電力の利用推進	2,186,920 (135,969)	829,180 (57,131)	1,357,740 (78,838)	地下鉄用電力の再エネ由来電力導入割合拡大 R6:40%→R7:100% (括弧内は電気料金のうち再エネ指定に要する費用)
合計	2,896,269	913,355	1,982,914	



地下鉄フェスタ



照明のLED化(トンネル)

()内は前年度予算額

(4) 事業を支える経営基盤

53,848千円 (29,788千円)

将来にわたって持続可能な地下鉄を目指して、事業を安定的に支える経営基盤づくりの取組みを推進する。

ア 収益の確保

42,619千円 (16,520千円)

唐人町駅において、ドームイベント時の混雑緩和施策として、臨時列車を増便するとともに、改札口を増設する。

また、沿線の大型集客施設とタイアップしたキャンペーンの開催等により、幅広いお客様の利用を促進する。

さらに、大型デジタルサイネージ等の新規広告媒体を導入するほか、魅力的な駅ナカ店舗の誘致等により、収益の確保に取り組む。

イ 未来の地下鉄事業を支える人材の育成

11,229千円 (13,268千円)

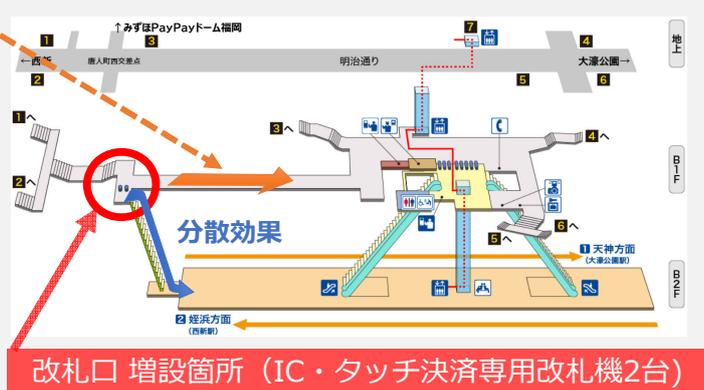
将来にわたって安定的に地下鉄事業を継続していくため、計画的な職員採用や専任の技術指導教官の配置による人材育成などに取り組み、安全・安心を支えるための技術力の継承・向上等を着実に推進する。

(単位：千円)

区分	令和7年度	令和6年度	比較増減	備考
ア 収益の確保	42,619	16,520	26,099	
唐人町駅の改札口の増設	28,979	-	28,979	唐人町駅改札機設置
地下鉄利用のプロモーション	13,640	16,520	△ 2,880	沿線の大型集客施設とのタイアップ等
イ 未来の地下鉄事業を支える人材の育成	11,229	13,268	△ 2,039	
安定的な人材の確保及び育成等	11,229	13,268	△ 2,039	運転教習シミュレータ保守点検、鉄道総研等研修経費、求人広告掲載等
合計	53,848	29,788	24,060	



多客時の唐人町駅の様子



改札口 増設箇所 (IC・タッチ決済専用改札機2台)

唐人町駅の改札口増設